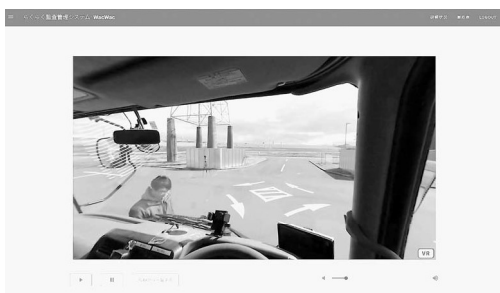


VR動画で運転者教育

WacWac



WacWac（佐々木章太CEO＝最高経営責任者）は、VR動画を活用し、ドライバーへの安全教育を効果的に行うことができるサービス「ドライバー向けVR360°安全教育動画」をトラック運送事業者向けに提供している。

トラック事業の現場での安全教育は従来、運行管理者が、国土交通省規定の安全教育（監査）12項目を、集研研

交通事故を疑似体験

修で説明することが大半。集研研修は、業務量の少ない土日祝日での実施がほとんどで、運行回数に応じて給与が支給されるケースが多いドライバーにとって、賃金に反映されない研修参加に対し、モチベーションが上がらないものだった。それに加え、教育内容と実業務がかい離するなど形骸化も指摘されてきた。

ある同社は、ドライバーが事故を疑似体験することで、効果的な安全教育を行うことができるVR動画研修サービスを開発。7月から運用を開始した。

動画研修は、監査12項目に対応。1項目の学習時間はわずか1分30秒程度で、待ち時間を利用し、月に1回、延べ18分程度の視聴により、全12項目の受講を完了できる。

実際の事故事例300件を分析し、右折時の死角による衝突などリアルな事故を360度動画で再現。

また、運行管理者もドライバー個々の受講にかかると管理業務量がぼろ大なる上、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、集研研修自体が開催できないといった課題を抱えている。

これらを解決し、本質的な安全教育を実現するため、2020年3月設立のベンチャーリアルな事故を360度動画で再現

システム上で自動管理でき、管理者の業務量を9割以上も削減。事故削減と生産性向上を同時に実現できる。料金は監査12項目対応プランで機材購入費を含め年間68万円（20人まで）。

（田中信也）